

2016年11月4日

報道関係各位

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

変額個人年金保険（通貨指定型15）「到達力V3（米ドル建）」を

2金融機関を通じて11月7日より販売開始

クレディ・アグリコル生命保険株式会社（代表取締役 兼 CEO：ジャン-ポール・ベルトラン）は、2金融機関を通じて2016年11月7日より変額個人年金保険（通貨指定型15）「到達力V3（米ドル建）」を販売開始いたします。

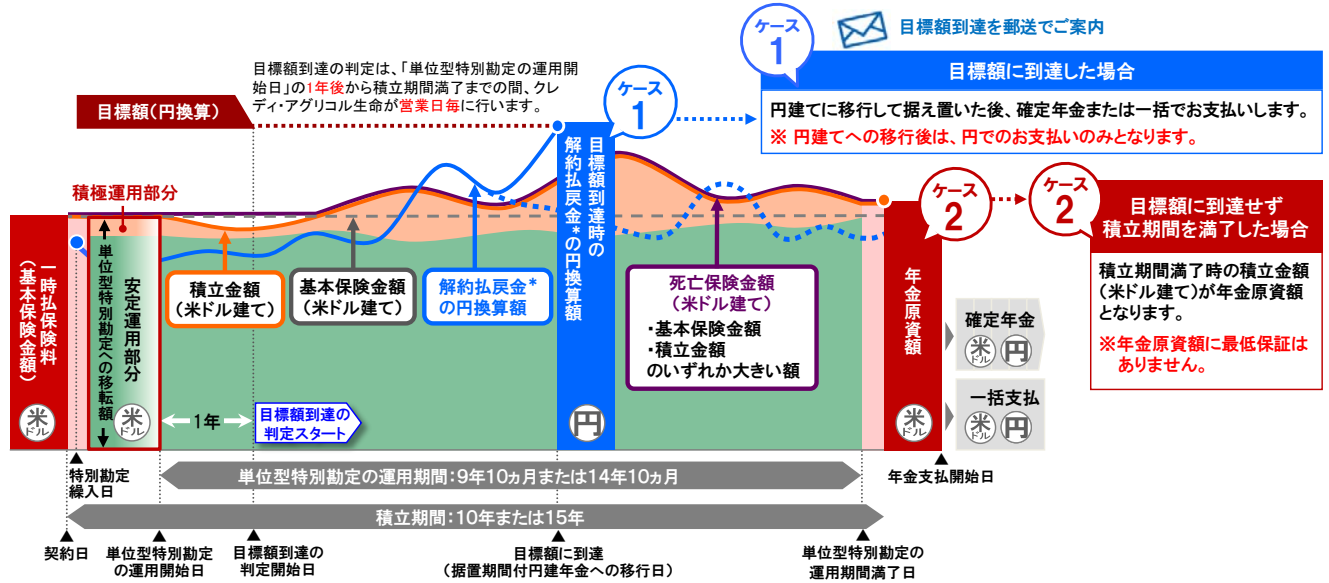
クレディ・アグリコル生命は、これからも提携金融機関との連携を密にし、多様化するお客さまのニーズに応える質の高いサービスの提供を目指していきます。

販売商品名称	正式商品名称	販売開始日	取扱金融機関（五十音順）
到達力V3（米ドル建）	変額個人年金保険 （通貨指定型15）	2016年11月7日	熊本銀行 親和銀行
この商品のおもな特徴			
<p>1 積極運用部分で為替差損を軽減しつつ、どのような市場環境でも運用成果をあげることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この保険は、米ドル建てです。一時払保険料を米ドルまたは円でお払い込みいただきます。 契約日の属する月の翌月13日に、米ドル建ての単位型特別勘定で運用を開始します。 <p>2 積立期間と円建ての目標をお決めいただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約時に積立期間（10年または15年）および円建ての運用成果の目標（円換算した一時払保険料を基準にした目標額指定割合）をご選択いただけます。 解約払戻金の円換算額が目標額以上に到達すると、円建ての運用成果を自動的に確保します（円建てに移行して据え置いた後、確定年金または一括でお支払いします）。 <p>3 積立期間満了時の成果として「基本保険金額（米ドル建て）の100%の確保とそれ以上の成果」を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 積立期間（10年または15年）を満了した場合、満了時の積立金額（米ドル建て）が年金原資額となります。 「安定運用部分」は、積立期間満了時に「基本保険金額（米ドル建て）の100%の確保」を目指して運用します。また、「積極運用部分」は「上乘せの成果」を目指して運用します。 積立期間満了後、年金原資を、確定年金または一括でお支払いします。 			

商品概要

1. イメージ図

<積極運用部分の運用成果があった場合>



*一定期間中の解約払戻金額は、積立金額から解約控除額が差し引かれた金額となります。

※当図はイメージ図であり、一部解約等があった場合を想定していません。また、将来の解約払戻金額、年金額等を保証するものではありません。

2. 主な取り扱い

正式名称	変額個人年金保険 (通貨指定型15)	
積立期間	10年または15年	
契約年齢 (契約日における被保険者の満年齢)	20歳~75歳	
年金種類	確定年金	
指定通貨	米ドル	
保険料の払込方法	一時払のみ	
一時払保険料 (払込金額)	米ドルでお払い込み いただく場合	保険料円入金特約を 付加した場合
	10,000米ドル以上、 円換算で5億円 ^{*1} 以下 (100米ドル単位)	100万円 ^{*2} 以上、 5億円 ^{*1} 以下 (1万円単位)

*1 クレディ・アグリコル生命の定める個人年金保険のご契約については、同一被保険者あたりの基本保険金額 (外国通貨建ての保険についてはクレディ・アグリコル生命所定の方法で円換算します) を通算して5億円がお取り扱いの限度となります。

*2 米ドルに換算した基本保険金額が10,000米ドルを下回った場合でも、円でお払い込みいただく金額が100万円以上であればお取り扱いできます。

3. リスクについて

- ・この保険は、特別勘定の運用実績によって積立金額、解約払戻金額、死亡保険金額および将来の年金原資額が変動 (増減) するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては解約払戻金額や年金原資額が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。
- ・この保険は、米ドル建てで運用するため為替相場の変動による影響を受けます。そのため、解約払戻金、年金、死亡保険金等をお支払時の為替レートで円換算した合計額が、お払い込みいただいた時の為替レートで円換算した一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。なお、為替相場の変動がなかった場合でも、為替手数料分のご負担が生じます。
- ・年金原資額および解約払戻金額に最低保証はありません。
- ・これらのリスクは契約者等に帰属しますのでご注意ください。

4. 諸費用について

- ・この保険にかかる費用は、「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、「解約控除」「外国通貨のお取り扱いによりご負担いただく費用」がかかることがあります。

積立期間中	単位型特別勘定の運用期間中	保険関係費用	基本保険金額に対して最大年率2.25%*1	
		運用関係費用	運用関係費用として、債券の事務処理に要する費用、有価証券等の売買取引・保有に伴う費用等がかかります。これらの費用は、債券の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用について詳しくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。	
	マネー型特別勘定の運用期間中	保険関係費用	保険関係費用はかかりません。	
		運用関係費用	積立金額に対して最大年率2.25%*2	
	解約控除	特別勘定繰入日から単位型特別勘定の運用開始後10年未満*3までの期間、基本保険金額*4に対して8%~0.8%		
年金支払期間中	年金管理費用	支払年金額に対して1%(2016年5月末現在のものであり、将来変更されることがあります。)		
外国通貨取扱時	<ul style="list-style-type: none"> ●一時払保険料を米ドルでお支払いいただく際には銀行への振込手数料以外の手数料をご負担いただく場合があります。また、年金等の受取人が年金等を米ドルでお受け取りになる際にも手数料をご負担いただく場合があります(くわしくは取扱金融機関にご確認ください)。 ●次の場合、クレディ・アグリコル生命所定の為替レートとTTM(対顧客電信相場仲値)*5の差額を、為替手数料としてご負担いただきます(2016年5月末現在のものであり、将来変更されることがあります)。 			
	クレディ・アグリコル生命所定の為替レート			
	・「保険料円入金特約」を付加し、一時払保険料を円でお支払いいただく場合		受領日*6の米ドルTTM+50銭	
	・「円支払特約(12)」を付加し、死亡保険金等を円でお支払いする場合		円換算日の米ドルTTM-1銭	
	・「年金円支払特約」を付加し、年金を円でお支払いする場合			
・「円建年金移行特約(13)」により据置期間付円建年金に移行する場合				

- *1 単位型特別勘定のうち積極運用部分の移転当初の比率は、積立期間10年は米ドル10年金利等、また、積立期間15年は米ドル15年金利等の上昇・低下等に基づきそれぞれ決定されます。積極運用部分の当初の比率の下限は基本保険金額に対して3%とし、移転時の市場環境により取引条件等が一定以上悪化してその比率を下回ることが見込まれる場合には、当初の比率が3%以上となるように保険関係費用を一定程度引き下げて適用することがあります。なお、単位型特別勘定への移転の際に適用された保険関係費用の年率は、変更されることはありません。
- *2 マネー型特別勘定の運用期間中の運用関係費用は、年率2.25%を上限とし、マネー型特別勘定の運用収益率が年率2.25%以下の場合、運用収益相当額とします。
- *3 単位型特別勘定での運用が終了している場合、解約控除はかかりません。
- *4 一部解約の場合は、基本保険金額に、一部解約日の積立金額に対する一部解約請求金額の割合を乗じた金額です。
- *5 TTM(対顧客電信相場仲値)は、クレディ・アグリコル生命が指標として指定する金融機関が公示する値を使用します。
- *6 受領日とは、クレディ・アグリコル生命がお支払いいただいた一時払保険料相当額を受領した日のことです。

■その他のご留意事項について

- ・この保険はクレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。
- ・米ドル以外の外国通貨で年金、死亡保険金等をお支払いすることはできません。
- ・契約時において年金額は確定していません。将来お支払いする年金額は年金原資額に基づき、年金支払開始日の基礎率等(予定利率等)により計算します。

・ご契約のご検討・お申し込みの際には、必ず「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・この資料では、わかりやすさの観点から「ご契約のしおり・約款」の「金融市場型特別勘定」を「マネー型特別勘定」、「単位型タイプ特別勘定」を「単位型特別勘定」と表記しています。

クレディ・アグリコル・グループについて

クレディ・アグリコル・グループは、世界52か国で金融サービス事業を展開し、総資産約1兆6,989億ユーロ(約226兆円)*を誇る世界有数の総合金融グループです。リテール銀行業務に強固な基盤を保持する一方で、生命保険事業に関しても、1986年にフランス初のパンカシュアランス(銀行窓口における生命保険販売)専門の生命保険会社を設立し、以来30年にわたりパンカシュアランスのパイオニアとしての地位を確立しています。近年ではフランス国外においても積極的にパンカシュアランス事業を展開しており、着実にそのビジネスを発展させています。詳細は<http://www.credit-agricole.com/>をご参照ください。(※数値は2015年12月末現在 換算レート:1ユーロ133.27円で円換算)